

様式1

県立竜ヶ崎南高等学校【総合的な探究の時間計画】(令和8年度)

学校の教育目標

<p>1 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を通して、多様な生徒一人一人の資質・能力の育成を図る。</p> <p>2 キャリア教育の充実と進路先の開拓を推進し、全ての生徒の進路決定を図る。</p> <p>3 基本的な生活習慣を身に付け「18歳成人」社会に対応した行動がとれることを目指して生徒の自立を支援していく。</p> <p>4 キャリアパスポートを活用して学校行事における生徒の達成感や成就感を養う。 特別活動全般の参加の機会を増やし、内容の充実を図る。</p> <p>5 生活体験や社会体験を通して、社会の変化に適切に対応できる力を育成する。</p> <p>6 地域への働きかけを充実させ、地域に支えられる学校、地域を支える人材を育てる学校を目指す。</p> <p>7 効率的な業務の遂行と労働時間の短縮を目指し、労働の質を高める。</p> <p>8 通級指導実施のための校内体制の強化と、特別な教育的支援を必要とする生徒の理解促進と指導法の向上。</p>

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<p>探究の見方・考え方を働かせ、地域や社会に関わる総合的な学習を行い、自己の在り方生き方を考えながら、自発的・主体的に課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 地域や社会に関わる研究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、社会の形成者としての自覚をもち、働くことの意義や価値を理解できるようにする。</p> <p>(2) 地域や社会と自己との関わりから問いを見だし、自己実現に向けて課題を立て、自発的・主体的に情報を集め、整理・分析して、論理的にまとめ・表現することができるようになる。</p> <p>(3) 地域や社会についての研究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、異なる多様な意見を受け入れ尊重しながら、よりよい社会を実現するために、社会に貢献しようとする態度を養う。</p>	<p>1 体験学習や調べ学習におけるワークシート等への、必要事項の記入内容を評価の対象とする。</p> <p>2 体験学習や調べ学習をもとにした発表を評価の対象とする。</p> <p>3 課題を発見する過程の振り返りシートの記入内容を評価の対象とする。</p> <p>4 体験活動において、活動に参加し協働的に取り組む姿勢を評価の対象とする。</p>	<p>特別な教育的支援を必要とする生徒のニーズに応じた通級指導のもと、「できた」、「わかった」を積み重ね、自己肯定感を高める。</p>

様式 1

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名()

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1年	<p>① 進路講演会を通して、世の中の動きを学び、「働くとは。」という課題に対して、家族等の身近な人の話を聞きまとめる。</p> <p>② 介護講演会に参加して、介護や高齢者の暮らしについて学ぶ。車椅子等の体験を通して、実際の介護の現場についての視点や知識を学ぶ。</p> <p>③ 進路ガイダンス、先輩と語る会を通して、企業の方、先輩方の様々な職業について話を聞き、自分の将来について考える。</p>	<p>①企業</p> <p>②介護施設、病院</p> <p>③企業、大学、専門学校</p>	<p>・身近な題材を通し、社会情勢に興味関心を持つ。</p> <p>・異なる多様な視点や意見を尊重しつつ、他者に意見を伝え、相互理解を深める。</p> <p>・興味のある職業について多様な情報を収集し、今後の進路選択に生かすとともに、地域の産業に対する理解を深める。</p>
2年	<p>① 進路ガイダンスやオープンキャンパス、企業説明会等への参加を通して、学ぶこと・働くことの意味と価値について学ぶとともに、情報収集した内容をまとめて、展示物として作成する。</p> <p>② インターンシップに参加して、実際に働く経験を通じて、社会的責任とは何かを考える。</p> <p>③ ①・②の活動から進路実現に必要なことは何かを考え、自身の高校生活や将来の進路選択に必要な知識の習得につなげる。</p>	<p>①企業、大学、専門学校</p> <p>②企業</p> <p>③企業</p>	<p>・自分に必要となる情報を収集し整理することができる。</p> <p>・異なる進路についての違いや個別のよさや社会における役割、社会的責任を考えることができる。</p> <p>・自己の生き方あり方を考え、進路実現に向けて取り組むことができる。</p>
3年	<p>① 進路ガイダンスや企業見学を通して、入試や就職試験に向けて準備を進めながら、社会に出て求められる人物像について理解を深める。</p> <p>② 近隣事業所の人事担当者による講話や、大学・専門学校等の上級学校から講師を招き、社会貢献や地域貢献のあり方について学び、社会人として求められる資質や能力を育成する。</p> <p>③ 年金セミナーや租税教室等を実施し、社会で生きていくために必要な知識を身につける。</p>	<p>①企業、大学、専門学校</p> <p>②企業、大学、専門学校</p> <p>③企業による講演</p>	<p>・自らの個性について理解し、自己の適性や能力に気づく。</p> <p>・実社会で働くことについて自分なりの考えを整理するとともに、自分にふさわしい進路先と関連付けることができる。</p> <p>・講話及び体験活動を通して、社会人として求められる着こなしやマナーを身につけている。</p> <p>・未来の自分をイメージしながら、探究を進める態度を身につけている。</p>